

## 外見から推定される女性の魅力

川 名 好 裕 (立正大学心理学部)

### Female Attraction Interfered from Appearance

Yoshihiro KAWANA (*Faculty of Psychology, Rissho University*)

#### Abstract

Internet survey was conducted to study the interpersonal attraction of 20 different various female pictures. Data samples were consisted of 968 males and 967 females aged 20-49 years of old all over Japan. Participants rated the various attraction traits of one of 20 pictures. The male participants also rated of the relationship preferences; the degree of desire to be the friend, the lover, the sex partner and the marriage partner. The female participants rated the degree of desire to be the friend. Factor analysis of physical attraction traits extracted 4 different kind of physical attractions, which are the sexy-beauty attraction, the young-healthy attraction, the slim-body style attraction, and the white-sanitary attraction. Also Factor analysis of mental attraction traits extracted 4 different mental attractions, which are the friendliness, conscience, initiative and capability. Making these 8 different attraction factors as explanatory variables, and the degrees of desired relationships with the female picture stimuli as the criterion variables, the stepwise multiple regression analysis were conducted. The standardized multiple regression coefficients showed the importance of the kind of attraction determining the degree of desired relationships (Friend, lover, sexual partner, marriage partner). Generation comparisons showed as follows. The sexy-beauty attraction is most valued in love and sexual relationships by through 20-40 aged males. The males of 20's also liked the friendliness and the conscience, but hated the initiative of females. The males of 30's valued the young-healthiness besides the sexy-beauty attraction. They valued nothing of mental attractions. The males of 40's also valued the young-healthiness besides the sexy-beauty attraction. But they hated the initiative and the capability of females. Female participants valued the initiative and the friendliness, but hated the sexy-beauty attractions in friend relationships, especially in females of 20-30's. Females of 40's valued the slim body style, besides the friendliness and the initiative of female friends.

**Key words** : female attraction, physical attraction, mental attraction, relationship preferences, generation comparisons

**キーワード** : 女性の魅力、外見的魅力、内面的魅力、関係希望、世代比較

#### 序 論

##### 先行研究

川名 (2011) の「外見から推定される男性の魅力」の研究においては、インターネットに散見するさまざまなタイプの男性写真を集め、その中から外見の美醜、健康の良否、真面目さの高低、有能性の高低、貧富の高低、対人的好ましさの良否、年齢の高低などさまざまな基準からバラエティに富む、多様な写真を選択し

て、40の男性刺激写真を選定した。この40のうちの1つの写真をアンケート用紙の左上に添付したアンケート調査を実施した。アンケート項目は、この添付写真人物を見て、その人の外見的魅力項目や内面的魅力項目、さらに環境的付随項目などを7段階評定で評定させ、最後にその人物を友達にしたい度合い、恋人にしたい度合い、性的相手にしたい度合い、結婚したい度合いなどの関係希望の度合いを評定させた。このアンケートは合計で344人の20歳前後の女子大学生について

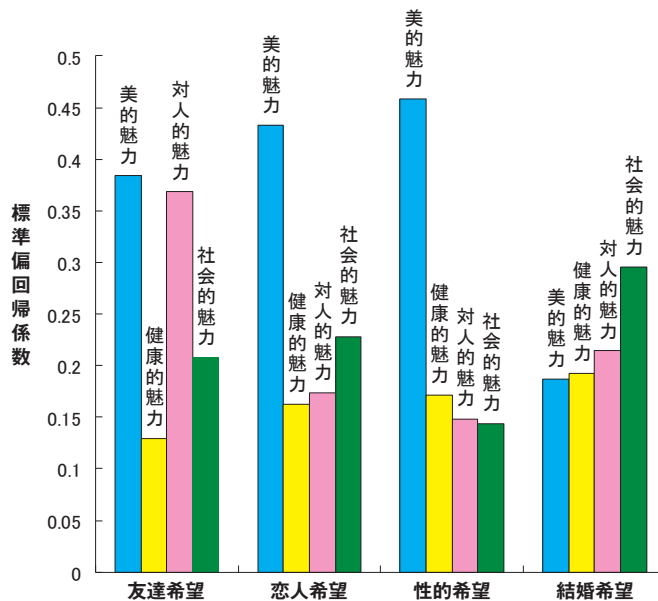


Fig. 1 男性魅力の重要度

回答させた。有効データの分析の結果、魅力項目のバリマックス直交回転による因子分析の結果、4つの魅力因子が抽出された。すなわち、**美的魅力**、**健康的魅力**などの外見的魅力因子と**对人的魅力**、**社会的魅力**などの内面的魅力因子であった。社会的魅力とは、誠実性や有能性、経済的安定と裕福性などの社会に貢献するような魅力特性である。これらの4因子を説明変数として、それぞれ、友人希望度、恋人希望度、性的相手希望度、結婚相手希望度の**基準変数**に段階的重回帰分析（増減法）をした。この重回帰分析から出てくる**標準偏回帰係数**は、各魅力の関係希望度への貢献度を表すので、その特定の関係希望決定における**魅力の重要度**と解釈できる。友達希望、恋人希望、性的希望、結婚希望の4つの関係希望ごとの4つの魅力（美的魅力、健康的魅力、对人的魅力、社会的魅力）の標準偏回帰係数をプロットしたものが、**Fig. 1**である。このグラフによって各関係希望において女性がどのような魅力を重視しているかが分かった。友達希望、恋人希望、性的希望において最も重視されている魅力は、**美的魅力**であった。美的魅力に因子負荷量の高い項目は、純粋に美的魅力だけで、性的魅力は含まれていなかった。しかし、この美的魅力の重要度は、結婚相手には第4位の重要度になっていた。結婚希望の相手に求める最も、重要な魅力は誠実性や有能性、そこから帰結しやすい経済的安定性と社会的地位の高さを示す**社会的魅力**であった。この社会的魅力の重要性は、友達希望から恋人希望、そして結婚希望と変わるに伴って、

重要度が増加していった。友達、恋人、結婚というふうにより異性関係が進展することを考えれば、社会的魅力は友達段階から考慮されているようである。これはなぜ、友達希望段階でも社会的魅力が重視されるかの理論的説明になるので、これを「**魅力の準備仮説**」と名付けた。魅力の準備仮説は、美的魅力が友達段階から恋人段階、そして性的希望段階で頂点に達していることで、性的結合に向けて美的魅力を友達段階から重視して準備し始めていると理解できる。**对人的魅力**については、最も重視されているのが友達希望段階で、次に結婚希望、ついで恋人希望で、最も軽視されているのが性的希望段階であった。对人的魅力の機能が継続的な人間関係における通常の対人場面での良好な関係に重要であることが理解できる。**健康的魅力**については、4つの関係でそれぞれ重視されているが関係の種類によってそれほど大きな変動はない。あえて違いを見るなら、友達段階より、個人的な関係になる恋人段階、性的関係段階、結婚段階でのほうがわずかに上昇していると言えよう。美的魅力が重視される友達、恋人、性的相手段階は、「**快楽原理**」による人間関係と言えよう。それに対して豊かな物質的生活を約束するであろう**社会的魅力**が最も重視される結婚関係は、「**生存原理**」に支配されている関係とみることができる。女性は、快楽原理が支配する友人、恋人、性的関係と、生活がかかっている結婚関係を峻別し、ちがった魅力特性を重視しているようである。女性は結婚相手には、社会的魅力を最も重視し、その他の魅力を balan

スよく同時に重視しているようである。

### 本研究の目的

以上のような研究結果を得た川名（2011）は、女性から見た男性の魅力の側面の研究であった。本研究は、その反対の「男性からみた女性の魅力の研究」を企画したものである。研究方法的には写真刺激を提示し、その写真人物の魅力項目と関係希望度合いを回答させるという同じ手法を使っている。この方法は、「恋人にはどのような魅力が重要ですか」というような直接的な質問をしていないため、公的自己意識や評価懸念などがない本音の知覚評価をさぐることができると思われる。以前の研究の欠点は、調査対象のサンプルが20歳前後の大学生に限定されていたという点である。魅力や恋愛の様相などは、それ以降の成人年齢段階が重要であるのに大学の授業の一部を利用したようなアンケート調査ではそれができなかった。今回は、インターネット調査を日本全国の大規模サンプルの男女で調査を企画した。

### 方 法

**被調査者と調査時期** インターネット調査会社の登録者サンプルから、20～49歳の男女にオンラインアンケート調査を依頼した。対象調査実施期間は2011年7月であった。有効データ数は、合計1935人（女性967人、男性968人）で、それらをデータ分析に使用した。

**女性写真の選定と提示** 調査会社に依頼して、肖像権などが問題にならない顔写真データベースから、さまざまなタイプの女性写真をこちらの選定基準から探索集積してもらい、それらの中から、外見から推定され

る美的魅力、性的魅力、健康的魅力、体型といった物理的魅力の他、明るさや優しさ、親しみ易さ等の対人的魅力や、仕事などでの可能性や真面目さなどの社会的魅力、年齢も若い女性から年配の女性まで、様々な外見的・内面的特徴を示す可能な限り多岐に渡る、女性写真20種類を選定した。本調査で使った20種類の女性の写真については、「使用女性写真」を参照。

**調査方法と調査内容** 調査はインターネット調査会社にアンケート質問紙の原稿を送付し、それをオンライン調査に形式に編集してもらい調査を実施してもらった。

**調査内容** インターネット調査で使ったアンケート項目を、付表1に示す。回答者に示されるパネルには20種類の女性写真のうちの1つが提示されている。アンケート項目は、三つのパートから構成された。

第一のパートは、回答者のプロフィールと好みの女性のタイプを1. きれいな人、2. かわいい人、3. やさしい人、4. セクシーな人のいずれかで回答する様求めた問1から構成された。各写真刺激に対する回答者数の割り当ては、男女それぞれ50人前後であった。

第二のパートは、外見的魅力（下位尺度として美的魅力項目、健康魅力項目、性的魅力項目がある）に関する20項目（問2～問20、例：きれいな、健康的な、セクシーな）、内面的魅力に関しては、Big Five 性格測定尺度の各尺度からそれぞれ5項目を選んだ5×5＝25項目（問21～問46、例：親しみのある、温和な、頭がいい）、および付随的魅力に関する5項目（問47～問51、例：家庭的な、育ちがよさそう）から構成された。回答者は魅力に関する各項目について、提示された写真の女性がどの程度当てはまるかを、「1. 全く当てはまらない」から「7. 非常に当てはまる」の7件

Table 1. 外見的魅力の因子負荷量

第1因子		第2因子		第3因子		第4因子	
若さ健康魅力	因子負荷量	性的美的魅力	因子負荷量	体型美魅力	因子負荷量	美白清潔魅力	因子負荷量
健康的	0.781	セクシー	0.849	やせている	0.807	色白な	0.532
顔色がいい	0.769	エロチック	0.836	スリムな	0.753	清潔な	0.437
かわいい	0.702	色っぽい	0.821	スタイルがいい	0.562	上品な	0.408
若々しい	0.691	美しい	0.565	若々しい	0.272	美しい	0.230
清潔な	0.643	きれいな	0.564	おしゃれな	0.268	きれいな	0.203
美しい	0.551	かっこいい	0.526	上品な	0.262	おしゃれな	0.154
きれいな	0.503	おしゃれな	0.507	美しい	0.255	スタイルがいい	0.099
おしゃれな	0.495	スタイルがいい	0.463	きれいな	0.239	顔色がいい	0.099
上品な	0.467	上品な	0.403	清潔な	0.208	スリムな	0.069
スタイルがいい	0.445	日に焼けた	0.360	色白な	0.131	健康的	0.060
色白な	0.353	スリムな	0.323	かっこいい	0.113	痩せている	0.032
かっこいい	0.285	若々しい	0.273	セクシー	0.093	色っぽい	0.019

法（中間は「4. どちらでもない」）で回答するように求められた。

第三パートは関係希望に関する4項目で構成され、男性回答者には、「この人物を友達にしたいと思いますか？（問52）」、「この人物を恋人にしたいと思いますか？（問53）」、「この人物を性的相手にしたいと思いますか？（問54）」、「この人物を結婚相手にしたいと思いますか？（問55）」、の各質問について、7件法で回答するよう回答者に求めた。女性の回答者には、問52の友達にしたい度合いのみを回答させた。

## 結果と考察

第二パートの外見的魅力に関する20項目（問2～問20）を主因子法・バリマックス回転による因子分析を行い、固有値1以上の基準と解釈可能性の観点から4因子を抽出した（Table 1）。

第1因子に負荷量が高い項目は、「健康的」、「顔色がいい」、「かわいい」、「若々しい」等で若さと健康を示す特性なので**若さ健康的魅力**と名付けた。第2因子に負荷量が高い項目は、「セクシー」、「エロチック」、「美しい」、「きれいな」など性的魅力と美的魅力が合わさった魅力なので、**性的美的魅力**と名付けた。第3因子に負荷量が高い項目は、「やせている」、「スリムな」、「スタイルがいい」といった魅力なので、**体型美魅力**と名付けた。第4因子に負荷量が高い項目は、「色白な」、「清潔な」、「上品な」といった魅力なので、**美白清潔魅力**と名付けた。

第二パートの内面的魅力に関する25項目（問21～問46）と付随的項目（問47～問51）を主因子法・バリマックス回転による因子分析を行い、固有値1以上の基準

と解釈可能性の観点から4因子を抽出した（Table 2）。

第1因子に負荷量が高い項目は、「親しみのある」、「温和な」、「明るい」や「いい奥さんになれそう」、「家庭的な」等で対人的魅力と家庭的魅力を示しているが、簡略的に**対人的魅力**と名付けた。第2因子に負荷量が高い項目は、「積極的な」、「活動的な」、「めげない」、「強気な」、「自信にあふれた」など主導性と積極性を示す特徴なので、**主導積極性**と名付けた。第3因子に負荷量が高い項目は、「勤勉な」、「真面目な」、「几帳面な」、「育ちがいい」といった魅力で、Big Fiveの「誠実性」を中心とした社会的に望ましい魅力なので、**社会的魅力**と名付けた。第4因子に負荷量が高い項目は、「前向きな」、「頭がいい」、「計画性のある」、「自信にあふれた」といった特性なので、**有能性**と名付けた。

以上、提示された女性写真の魅力や特性について、因子分析の結果、**外見的魅力**については、**若さ健康的魅力、性的美的魅力、体型美魅力、美白清潔魅力**に4つに下位分類され、**内面的魅力**については、**対人的魅力、主導積極性、社会的魅力、有能性**に4つに下位分類された。これらの因子得点を各回答者について算出して、写真女性への魅力および特性認知指標とした。一方、写真女性への**関係性の希望度合い**、すなわち、男性の各回答者は、**友達希望、恋人希望、性的希望、結婚希望**の度合いを回答させている（女性回答者は、**友達希望**の度合いのみ）。そこで、魅力、特性認知と関係希望度合いとの関係を検討した。

外見的魅力に関する4つの下位魅力の因子得点と、内面的魅力についての4つの下位魅力の因子得点の合計8変数を**説明変数**、4つの関係性希望評定値を**基準変数**とした段階的重回帰分析（増減法）を4種類の関係性ごとに実施した。20代～40代の男性のそれぞれに

Table 2. 内面的魅力の因子負荷量

第1因子		第2因子		第3因子		第4因子	
対人的魅力	因子負荷量	主導積極性	因子負荷量	社会的魅力	因子負荷量	有能性	因子負荷量
おおらかな	0.820	積極的な	0.774	勤勉な	0.740	前向きな	0.556
親しみのある	0.773	活動的な	0.711	真面目な	0.737	頭がいい	0.509
いい奥さんになれそう	0.769	好奇心が強い	0.697	几帳面な	0.707	計画性のある	0.492
家庭的な	0.759	めげない	0.660	育ちがいい	0.688	自信にあふれた	0.455
素直な	0.753	強気な	0.623	家柄がよい	0.677	温和な	0.348
明るい	0.750	独立した	0.584	頭がいい	0.608	親しみのある	0.247
温和な	0.743	頑張り屋の	0.557	誠実な	0.588	進歩的な	0.224
親切的な	0.714	自信にあふれた	0.555	裕福そうな	0.490	独立した	0.203
話好きの	0.607	進歩的な	0.551	計画性のある	0.489	明るい	0.185
楽観的な	0.599	社交的な	0.535	独立した	0.487	勤勉な	0.174
社交的な	0.590	話好きの	0.518	頑張り屋の	0.465	誠実な	0.168
誠実な	0.532	独創的な	0.425	進歩的な	0.443	活動的な	0.163

Table 3. 標準偏回帰係数（重回帰分析）

基準変数：関係希望評点

説明変数：各魅力因子得点

男性20代		標準偏回帰係数			
魅力の種類	友達希望	恋人希望	性的希望	結婚希望	
性的美的魅力	0.27	0.32	0.38	0.35	
社会的魅力	0.23	0.18	0.19	0.18	
対人的魅力	0.15	0.20		0.19	
主導積極性		-0.15	-0.17	-0.14	

男性30代		標準偏回帰係数			
魅力の種類	友達希望	恋人希望	性的希望	結婚希望	
性的美的魅力	0.14	0.27	0.28	0.21	
若さと健康魅力		0.22		0.20	
美白清潔魅力			0.16	0.19	
主導積極性		-0.15	-0.17	-0.14	

男性40代		標準偏回帰係数			
魅力の種類	友達希望	恋人希望	性的希望	結婚希望	
性的美的魅力	0.29	0.37	0.39	0.34	
若さと健康魅力	0.21	0.24	0.21	0.22	
有能性	-0.11	-0.14	-0.13	-0.12	
主導積極性	-0.10	-0.14	-0.11	-0.15	

女性同士		標準偏回帰係数		
魅力種類	20代同性	30代同性	40代同性	
対人的魅力	0.19	0.10	0.17	
主導積極的魅力	0.09	0.15	0.12	
性的美的魅力	-0.17	-0.25		
体型美の魅力			0.13	

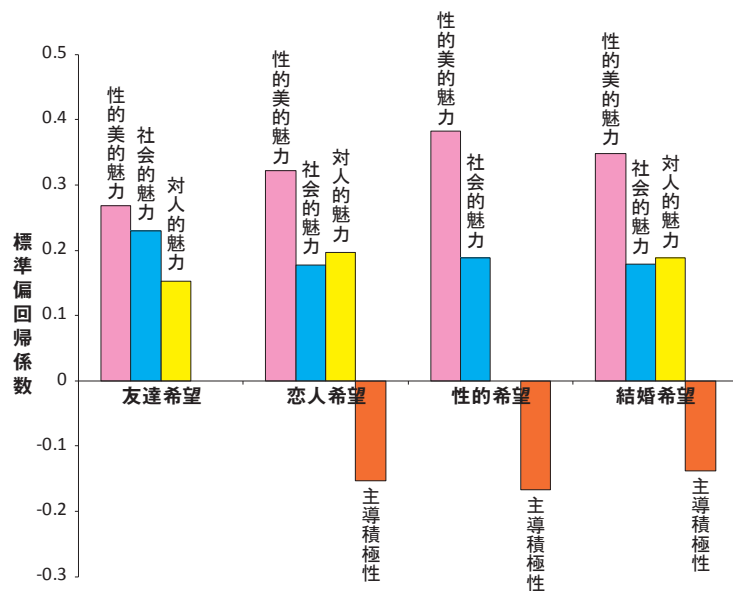


Fig. 2 女性の魅力の重要度（20代男性）

ついでに重回帰分析から得られた標準偏回帰係数および、20代～40代の女性の同性同士の重回帰分析から得られた標準偏回帰係数の表を Table 3 に示す。

標準偏回帰係数は、説明変数である魅力の関係性希望への影響力の大きさを示す指標となり「魅力の重要性」と解釈することができる。

#### 男性による女性の魅力の重要性

##### ① 20代の男性による女性の魅力の重要度

Fig. 2 は Table 3 で有意であった魅力特性（20代男性）の標準偏回帰係数をグラフで示したものである。

20代の男性の女性魅力評価については、性的美的魅

力がどの関係においても、最も重要視されている。真面目さなどの社会的魅力もどの関係においても重視されている。対人的魅力については、性的希望を除く関係において重視されている。しかし、個人的な異性関係に入った恋人関係、性的関係、結婚関係においては、主導積極性はすべてマイナスの方向に有意である。これは男性から見て女性の主導的積極性は敬遠されていることを示すと言えよう。20代男性の女性評価は、性的美的魅力という外見的魅力と、社会的魅力と対人的魅力、主導積極性など内面的魅力を考慮して判断しているようである。

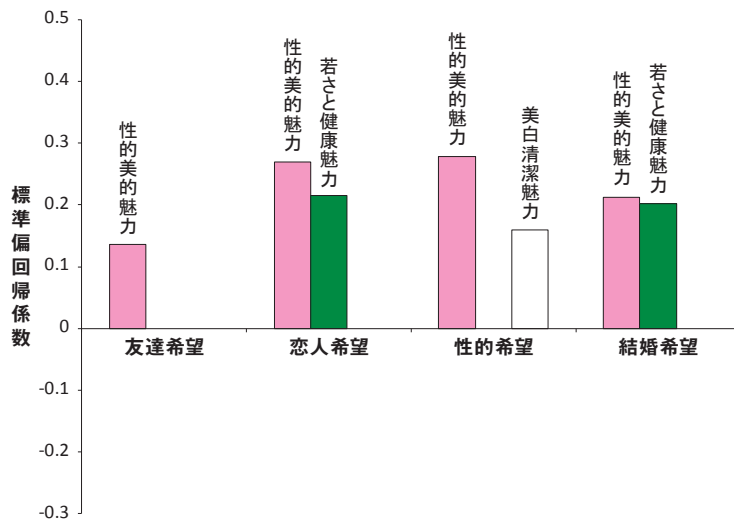


Fig. 3 女性の魅力の重要度 (30代男性)

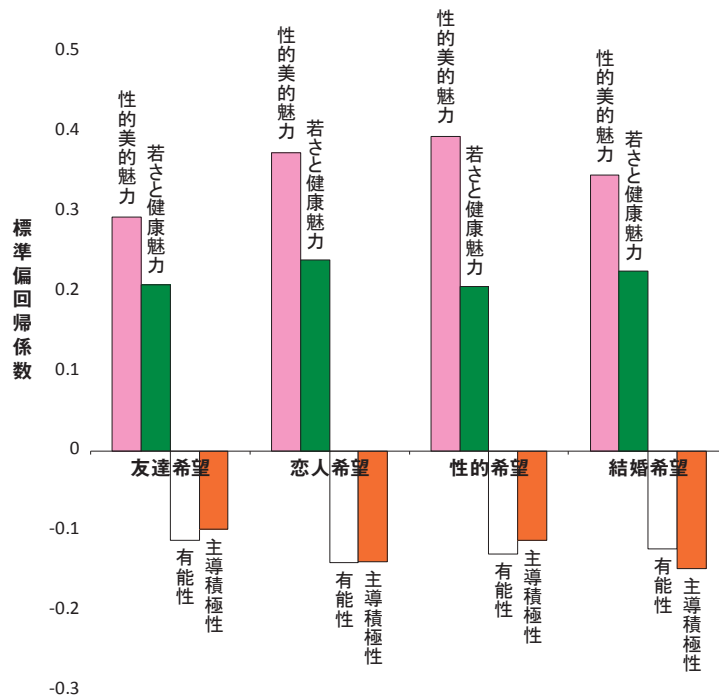


Fig. 4 女性の魅力の重要度 (40代男性)



## ② 30代の男性による女性の魅力の重要度

Fig. 3 の Table 3 で有意であった魅力特性（30代男性）の標準偏回帰係数をグラフで示したものである。

30代の男性の女性の魅力評価は、20代の男性とかなり異なる。すぐに気づくのは、対人的魅力や社会的魅力、主導積極性などの内面的魅力が有意な影響力をもっていないということである。外見的魅力については、20代の男性と同じく性的美的魅力を最も重要視しているが、20代の男性になかった若さと健康魅力を恋人関係や結婚関係の相手に求めている。30代の男性は、自分と同世代か20代の女性を交際相手として望んでいるということのようである。性的関係の相手には、さらに美白魅力をのぞんでいる。若さと美しさ、性的魅力などの外見的魅力のみを重要視していることは、驚きである。

## ③ 40代の男性による女性の魅力の重要度

Fig. 4 の Table 3 で有意であった魅力特性（40代男性）の標準偏回帰係数をグラフで示したものである。

40代の男性と30代の男性の共通点は、友達関係から結婚関係に至るすべての異性関係において、最も性的美的魅力を重視し、ついで若さと健康魅力という外見的魅力のみを重視している点である。30代男性と違う点は、女性の主導積極性と有能性という内面的魅力を敬遠、嫌っているという点である。友達関係から結婚関係にいたる関係間の区別が一切ないという特徴も明記されるべきであろう。女性の内面的魅力である対人的魅力、社会的魅力、主導積極性、有能性についてすべて魅力としてポジティブに評価することがないとい

う特徴である。伝統的な性役割観に支配された世代とすることができよう。

40代男性と20代男性とを比較すると、大きな時代の変化を感じることができる。男性共通の特徴として、性的美的魅力を女性に期待することは共通である。また、女性の主導積極性を個人的な男女関係において嫌うことは、共通である。男性は、主導権を女性に渡したくないということであろうか。

しかし、20代男性と40代男性との大きな違いは、40代男性が対人的魅力や社会的魅力をほとんど考慮しないのに対して、20代男性は、女性の対人的魅力、社会的魅力を交際相手の選択において重要視するようになってきている点であろう。以前の筆者の「女性から見た男性の魅力」では、女性が男性を選ぶときに美的魅力や健康的魅力のような外見の魅力と同時に、対人的魅力や社会的魅力をバランスよく考慮していることを示したが、現代の20代の男性は、こうした女性の見方と類似性を示ようになってきている。

## ④ 女性による女性の魅力評定

以上は、各世代の男性からみた女性の魅力を見てきたが、次に女性同士が同性の魅力をどう評価しているかを検討しよう。女性は、通常、異性愛であることが多いので、今回、女性同士の関係を友人関係に限定して、友達希望と各魅力の重要度を検討しよう。

Fig. 5 は Table 3 で有意であった魅力特性（女性同士）の標準偏回帰係数をグラフで示したものである。

20代、30代、40代の女性の同性への友達としての魅力の重要性を一緒に比較する。このグラフを見て、男

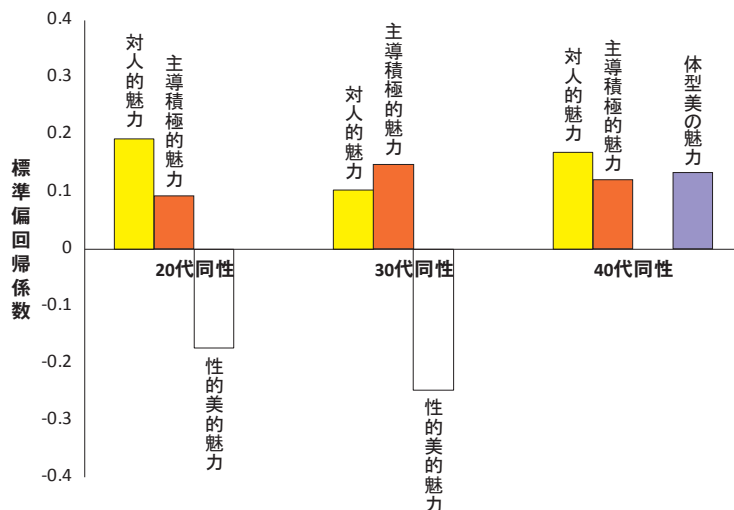


Fig. 5 友達としての魅力の重要度（女性同士）

性から見た魅力と女性から見た魅力は対照的であるということである。

まず、**外見的魅力**についてであるが、男性が女性の魅力として最も重視する**性的美的魅力**は、女性同士の友達関係では敬遠され、嫌われる魅力であるということである。特に20代から30代の女性は、はっきり性的美的魅力をネガティブに評価している。これは、進化心理学的に見ても男女の間の**性内競争**での重要魅力である**性的美的魅力**は、女性同士の**性内競争**においては関係を脅かす特性となるからであろう。異性に対する**性的美的魅力**は、女性同士では激しい嫉妬の火種となるのからかもしれない。他者の**性的美的魅力**は20代より30代の方が、より嫌われているのは、**性内競争**にとって大きな脅威なるからであろう。しかし、40代になると性的美的魅力は、特に嫌悪される特徴としては、出てこなくなる。そのかわりに**体型美の魅力**が積極的にポジティブな魅力として登場してくる。40代女性においては、多くの人が異性獲得の性内競争が終わっている人が多くなるので、やせて、スタイルのよい特徴を示す**体型美の魅力**が、異性を魅惑する特徴としてよりも、肥満などからくる成人病などの脅威を克服しているモデルとして考えられるからであろう。多くの女性は、若い時からダイエット志向が高く、自分が肥満になる40代あたりからは、**体型美の魅力**を持っている同性女性は、健康と美のうらやましいモデルとなるからであろう。

女性同士が友達関係で重視する**内面的魅力**は、**对人的魅力**と**主導積極性**であることがグラフから明らかである。20代と40代では、**对人的魅力**が第1位、**主導積極性**が第2位に重視されている。しかし、30代女性は、**主導積極性**を第1位、**对人的魅力**を第2位に重視している。**主導積極性**は、友達仲間でのオピニオン・リーダーがもつ主要な魅力と考えれば、30代の女性は、仕事や遊びの面でも**主導積極性**を発揮できる年代だからであろうと考えられるし、それが女性仲間では評価される魅力となるのであろうと考えられる。

次に魅力の評価について男女で比較してみよう。

**对人的魅力**に関しては、異性関係でも同性関係でも重視される魅力で男女共通の評価である（特に20代の男性と女性の全世代）。

しかし、**主導積極性**については、男女でその特性の魅力の評価が対照的である。女性同士では、**主導積極性**は、非常にポジティブに望ましい特性として評価しているが、男性が女性の**主導積極性**については、非常に敬遠し、嫌悪する特性として考えているようだ。20代および40代の男性は**主導積極性**をネガティブに評価している。40代男性は、友達関係からすべての関係において、一貫してネガティブに評価しているし、20代

男性も友達関係ではそうではないが、恋人関係以後の個人的異性関係になったとき、**主導積極性**をネガティブに評価している。

## 総合的考察

本研究は、川名（2011）の「外見から推定される男性の魅力」の続編研究として「外見から推定される女性の魅力」の研究である。

## 研究方法について

本研究の研究方法は、基本的に川名（2011）と同じで、さまざまなタイプの異性の写真刺激から、いろいろな次元の魅力を評定し、さらにその写真の異性との関係希望（友達希望、恋人希望、性的希望、結婚希望）を評定させるというシンプルな方法による研究である。この方法は、魅力評定と関係希望とを関係づけずに独立して訊いているので、特定の関係希望にどのような魅力を重視するかというような質問形式でないために、評定者の公的自己意識や評価懸念を活性化しないで正直な評価を期待することができる。特に異性関係において外見的魅力を重視するような意見表明は、社会的な評価からの非難や道徳的懸念から正直に意見表明しているとは、限らない。以前の筆者の「恋人関係では、どのような魅力を重視するか」のような言語報告調査研究では、そうした欠点があった。その点、この研究方法は、さまざまな魅力得点を特定の関係希望（友人、恋人、性的相手、結婚相手）に重回帰分析を用いて、間接的に関係希望における魅力の重要度を推定する手法を使っている。これによって、言語報告では出てこなかった異性関係における外見的魅力の重要度が男性から女性だけでなく、女性から男性の魅力評価においても重視されていることが、川名（2011）からも明らかにされた。

この研究方法を用いて、今回、女性の魅力についてデータを集めたが、前回との大きな違いがある。川名（2011）は、大学での授業でのアンケート調査研究で、小規模サンプル（344名）であり、アンケート調査対象も20歳前後の大学生だけのデータであった。しかし、本研究はインターネット調査での大規模サンプル調査で、日本全国の男女合計2000人弱（1935名）のデータである。さらに、対象年齢は、20代から40代で男女バランスよくデータサンプルを選定している。

## 年齢・世代比較

今回は、インターネット調査の大規模サンプルデータであったため、大学生以上の様々な年齢のデータが取得できた。結果の分析でわかったことは、同じ男性



からの女性の魅力評定でも年齢世代による結果が違うことが明らかにされた。異性関係において男性が女性の魅力のうち、外見的魅力を重視するであろうことは、以前の研究から予測していたが、年代による微妙な差異が明らかになった。それらをまとめると、以下のようになる。

1. 男性は、すべての年齢世代で、女性の**性的美的魅力**を最も重視する。

2. 20代の男性の女性の魅力判断

**性的美的魅力**がすべての関係で最も重要な魅力である。次にすべての関係で**対人的魅力**と**社会的魅力**を重視している。恋愛関係以後の個人的関係において、女性の**主導積極性**を敬遠している。

3. 30代の男性の女性の魅力判断

**性的美的魅力**がすべての関係で最も重要な魅力である。30代以後の特徴として、**若さと健康魅力**を恋人関係や結婚関係で重要視するようになる。ユニークな特徴として、性的関係の相手に**美白清潔魅力**を重視している。女性の**内面的魅力**については関係希望に影響がない。これは30代男性にユニークな特徴である。

4. 40代の男性の女性の魅力判断

すべての関係において、**性的美的魅力**を第1に、**若さと健康魅力**を第2に重視する魅力としている。**内面的魅力**をポジティブに評価することはなく、女性の**主導性**および**有能性**についてはネガティブに評価して敬遠している。

## 男女比較

今回の研究では、異性の男性から見た女性の魅力と、同性の女性から見た女性の魅力とを比較してみよう。この研究で比較できるのは、友達関係での魅力のみである。

5. 最も重視される女性の魅力が異性の男性からの評価と、同性の女性からの評価で異なる。すなわち、男性は女性の**性的美的魅力**や**若さと健康魅力**といった**外見的魅力**を重要と評価するのに対して、同性の女性は**主導積極性**や**対人的魅力**などの**内面的魅力**を重視して評価するという大きな違いがある。

6. 異性の男性が最も重要と評価する**性的美的魅力**は、同性の女性では、もっとも嫌って敬遠する魅力となっている。

7. 唯一、女性が評価する**外見的魅力**は、40代女性が同性の**体型美の魅力**を評価するときのみである。体型美は、美しさと健康の面から評価され、肥満になりがちな中年の女性の理想の魅力と考えられるからかもしれない。

## 20代男女の魅力評価の比較

Fig. 1 に示した川名 (2011) の「外見から推定される男性の魅力」のデータは、20歳前後の女性からの男性の魅力をはほぼ同様の研究法でしているので、今回の20代の男性からの女性の魅力評価の結果と、比較可能かと思われる。その比較から結論されることを列記してみよう。

8. 男性は性的魅力と美的魅力をセットにして**性的美的魅力**として重視するが、女性が男性の異性の魅力として重視する**美的魅力**は性的魅力要素を含まない(川名, 2011)。これは、男性は女性の身体のプロポーションや肌の露出などの視覚的な刺激によって性的興奮をするが、女性は男性の身体の視覚的刺激からは性的刺激を受けないからであろうと思われる。

9. 男女とも異性の**美的性的魅力**や**美的魅力**を最も重要と判断しているところは、類似している。人間を含めたほとんどの動物が美的魅力や性的魅力を、配偶相手を獲得するときに利用していることを見れば、遺伝子に組み込まれ、**快樂原理**に密接に組み込まれた魅力と考えることができるであろう。

10. 異性との関係を考慮するときに、20代の男性も20歳前後の女性も、異性の魅力については、両方とも**外見的魅力**と、**内面的魅力**を考慮している点は類似している。

11. しかし、20代の男性は、個人的異性関係において、女性の**主導積極性**のみは敬遠しているようだ。

12. それに対して、今回の30代の男性および40代の男性は、女性の**外見的魅力のみ**を重要視するという点で、バランスよく異性の外見的魅力と内面的魅力を考慮する女性の異性戦略とは異なる。おそらく、30代、40代以上の男性は、「**伝統的性役割観**」で女性と男性は違うものと見ているのであろう。特に40代の男性は、女性の**内面的魅力**を評価するどころか、**有能性**や**主導積極性**を**ネガティブ**に評価している。

13. 女性は、恋愛相手と結婚相手の魅力のプロフィール異なるが、男性では恋愛相手と結婚相手の魅力のプロフィールに違いはない。すなわち、女性は友達、恋愛、性的相手では、美的魅力を最も重視しているが、結婚相手では、社会的魅力を最も重視している。それに対して、男性は、20代から40代の各年代とも恋愛相手と結婚相手では、重視する魅力のプロフィールがほとんど同じである。

今後の研究の展開としては、男性の魅力の研究をインターネット調査のような大規模でかつ、年齢世代の違うサンプルで研究することによって男女の魅力の総体の様相が明らかになるとと思われる。

## 引用文献

川名好裕（2011）. 外見から推定される男性の魅力 立  
正大学心理学研究所紀要, 9, 89-101.

\*注. この研究は、2011年度立正大学心理学研究所の  
共同研究助成のもとで企画されたものの一部で  
ある。立正大学心理学研究所の助成に感謝の意  
を表したい。

付表1. 女性の印象評定アンケート

年齢( )  
性別 男・女

写真番号:1~20

次の質問にお答えて、当てはまるものに○をつけて下さい。

問1 あなたの好きな女性のタイプは？ 1. きれいな人 2. かわいい人 3. やさしい人 4. セクシーな人

写真の人物について、あなたの思うところの数字に○をつけて下さい。

ここに女性の写真を貼る	全 く 当 て は ま ら な い	あ ま り 当 て は ま ら な い	や や 当 て は ま ら な い	ど ち ら と も い え な い	や や 当 て は ま る	か な り 当 て は ま る	非 常 に 当 て は ま る
問2 健康的な	1	2	3	4	5	6	7
問3 きれいな	1	2	3	4	5	6	7
問4 セクシー	1	2	3	4	5	6	7
問5 スリムな	1	2	3	4	5	6	7
問6 顔色がいい	1	2	3	4	5	6	7
問7 美しい	1	2	3	4	5	6	7
問8 エロチック	1	2	3	4	5	6	7
問9 太っている	1	2	3	4	5	6	7
問10 清潔な	1	2	3	4	5	6	7
問11 おしゃれな	1	2	3	4	5	6	7
問12 スタイルがいい	1	2	3	4	5	6	7
問13 痩せている	1	2	3	4	5	6	7
問14 若々しい	1	2	3	4	5	6	7
問15 上品な	1	2	3	4	5	6	7
問16 色っぽい	1	2	3	4	5	6	7
問17 目に笑った	1	2	3	4	5	6	7
問18 かわいい	1	2	3	4	5	6	7
問19 かつこいい	1	2	3	4	5	6	7
問20 色白な	1	2	3	4	5	6	7
問21 親しみのある	1	2	3	4	5	6	7
問22 計画性のある	1	2	3	4	5	6	7
問23 前向きな	1	2	3	4	5	6	7
問24 穏和な	1	2	3	4	5	6	7
問25 頭がよい	1	2	3	4	5	6	7
問26 自信にあふれた	1	2	3	4	5	6	7
問27 親切な	1	2	3	4	5	6	7
問28 独創的な	1	2	3	4	5	6	7
問29 強気な	1	2	3	4	5	6	7
問30 素直な	1	2	3	4	5	6	7
問31 独立した	1	2	3	4	5	6	7
問32 楽観的な	1	2	3	4	5	6	7
問33 誠実な	1	2	3	4	5	6	7
問34 進歩的な	1	2	3	4	5	6	7
問35 明るい	1	2	3	4	5	6	7
問36 おおらかな	1	2	3	4	5	6	7
問37 社交的な	1	2	3	4	5	6	7
問38 几帳面な	1	2	3	4	5	6	7
問39 話好きな	1	2	3	4	5	6	7
問40 勤勉な	1	2	3	4	5	6	7
問41 活動的な	1	2	3	4	5	6	7
問42 がんばり屋な	1	2	3	4	5	6	7
問43 好奇心が強い	1	2	3	4	5	6	7
問44 真面目な	1	2	3	4	5	6	7
問45 めげない	1	2	3	4	5	6	7
問46 積極的な	1	2	3	4	5	6	7
問47 裕福そうな	1	2	3	4	5	6	7
問48 家庭的な	1	2	3	4	5	6	7
問49 いい奥さんになれそう	1	2	3	4	5	6	7
問50 育ちがよさそう	1	2	3	4	5	6	7
問51 家柄がよさそう	1	2	3	4	5	6	7
この人物をあなたの							
問52 友達にしたいと思いますか？	1	2	3	4	5	6	7
問53 恋人にしたいと思いますか？	1	2	3	4	5	6	7
問54 性的相手にしたいと思いますか？	1	2	3	4	5	6	7
問55 結婚相手にしたいと思いますか？	1	2	3	4	5	6	7

ご協力ありがとうございました

川名：外見から推定される女性の魅力

本調査での使用写真

NO.1



NO.2



NO.3



NO.4



NO.5



NO.6



NO.7



NO.8



NO.9



NO.10



NO.11



NO.12



NO.13



NO.14



NO.15



NO.16



NO.17



NO.18



NO.19



NO.20

